

平成26年度事業評価結果に対する検討結果報告書

事業番号	事業名	事業担当課
2	学校教育研究団体助成事業	教育研究所

事業評価の判定結果	市の対応方針
見直し	見直し

1 概要

主な見直し事項
負担金の削減

対応方針等の具体的内容
事業費を削減すべきなどの理由により、見直しとの評価を受けました。これを受け、各団体の活動内容について、検討した結果、校長会・教頭会などの負担金について、公費負担の範囲を見直すこととしました。

財政的効果		
平成27年度予算額(案) (千円)(A)	平成26年度予算額 (千円)(B)	差引額(千円) (A)－(B)
1,950	2,553	▲ 603

特記事項
事業評価結果を受けた負担金の精査により727千円の予算減額を行いました。その他に特定の年度のみ開催する研究会による予算の増減がありました。

※平成27年度予算額(案)は、平成27年度平塚市各会計予算が平塚市議会で可決されることによつて確定するものです。

2 各意見等に対する見解

作業メンバーの意見、作業シートの記載内容に対する見解

(1) 事業の成果について

- ・校長会、教頭会の成果を示す必要がある。
- ・成果指標をしっかりと検討すべき。

(検討結果等)

各団体の活動の成果は、その効果について具体的な数値とすることは困難ですが、年間の活動内容を振り返り、加盟している目的に対する有効性や充実度などについて年度末に各団体の教職員にアンケートを行い、それをもって成果指標とします。

更に、教育研究所においてアンケートの分析等を行い、各研究会等の有効性等を確認します。

(2) 各団体の負担金の見直しについて

- ・負担金の大半は、校長会、教頭会を対象としている。一部公費負担の市もあることも考え、負担金の削減に向けて考えてほしい。
- ・助成先を精査する。ヒアリングする。

(検討結果等)

校長会・教頭会の負担金については、公費の負担範囲を見直しました。また、平塚市1市だけでは、県や全国に負担金削減の趣旨が伝わりにくいため、教育長会議等においても働き掛けてもらうようにしました。

(3) 事業の組立てについて

- ・先生方が任意に県内又は全国の先生方と交流できる機会があるのは良いと思う。ただ、その内実は、義務的な校長先生、教頭先生の負担金になっており、事業名と内容が一致していない印象を受ける。

(検討結果等)

負担金等の用途について内容を吟味し、精選に努めるよう依頼することとしました。